

家庭科学習指導案

指導者 広島市立〇〇小学校

教諭 〇〇 〇〇

- 1 日時 平成22年12月〇日(〇)
- 2 学年 第5学年〇組
- 3 題材 料理って楽しいね!おいしいね!
- 4 題材について

- 子どもたちの食への関心、食べることの意欲は大人たちよりはるかに高く、また、楽しいもの、嬉しいこととしてとらえている様子は、様々な場面でみてとれる。それだけに、家庭科の学習の中でも食に関する内容は、とても楽しみにし、意欲的に学習に取り組んでいる。また、今までただ空腹を満たすためだけに食べていた子どもたちが、食の大切さを改めて考えたり、また自ら調理することが出来るようになる家庭科の学習は、人としての成長に大きな影響を及ぼすものと考えられる。特に、食生活のあり方について考えさせる本題材は、自分で調理する楽しさを感じながらも、食事の役割や栄養に気をつけた食事のとりかたを考えさせることのできる題材であり、子どもたちの毎日の生活に密接につながっていると思われる。
- 本学級の子どもたちも多く5年生がそうであるように、年度当初から家庭科の学習を楽しみにしており、半年が過ぎた今日でもその学習意欲はおとろえていない。特に食べることが自分で出来るようになることの喜びは大きく、夏休みをはじめとする学校休業日にも食事のしたくを手伝っている様子や、自分一人で家族の夕食を作った喜びなどが日記などからかいま見ることが出来ている。給食も本学級の児童はよく食べ、極端な好き嫌いのある児童も見られない。修学旅行でもその食べっぷりには感心された。それだけ食への意欲が高いと思われる。しかし、社会科の学習で食料生産について考えさせる場面でも、食を見ただけで選ぶとか、値段が大切と考えるなど、食事の役割や食生活のありかたなどには目を向けていない様子も見られたので、この題材での学習がしっかりと児童のこれからの食生活に生かされることを願っている。
- 指導に当たっては、まず電子黒板のマスキングを使って知識の定着をはかり、続いて子どもたちになじみの深いビュッフェスタイルのレストランを例にあげ、そこで栄養のバランスがとれた食事にするにはどうすればよいかを考えさせたい。本学級の児童全員がこのスタイルのレストランを経験しており、学区内のホテルにあるビュッフェレストランへも子供会などでよく行っているようである。つい、食べたいものだけをおなかいっぱい食べてしまうこのスタイルのレストランではあるが、これからは出来るだけ栄養のバランスも考えて食事する心を育てていきたい。そして、大人になってもどんな形であれ、つねに食事のあり方、大切さを気にとめながら生きていってほしいと思う。

5 題材の目標

- 日常の食生活や調理に関心を持つ。(関心・意欲・態度)
- 調理の手順や、食品に合った調理のしかたを工夫する。(創意工夫)
- 調理実習の進め方や、安全で衛生的な調理の仕方の基本が分かり、「ゆでる」調理と「いためる」調理ができる。(技能)
- 食品の体内でのたはらきが分かり、いろいろな食品を組み合わせることで食べることの必要性を理解する。(知識・理解)

6 評価規準

| 家庭生活への 関心・意欲・態度 | 生活を創意工夫する 能力 | 生活の技能 | 家庭生活についての知識・理解 |
|---|---|--|--|
| ○日常の食生活や調理に関心をもっている。 ○ゆで方やいため方に関心を持ち、意欲的に調理しようとしている。 | ○材料や目的に合わせて、工夫して調理している。 ○食生活をよくしようと工夫している。 | ○調理の計画を立てることができる。 ○安全や衛生に注意し、「ゆでる」「炒める」の調理ができる。 | ○調理の意味と調理実習の進め方、調理に必要な用具の種類や扱い方を理解している。 ○「ゆでる」「いためる」の調理方法を理解している。 ○食品は体内でおもに三つのはたらきをすること、また、健康に保ち、元気に生活するためには、いろいろな食品を組み合わせることが大切であることを理解している。 |

7 指導と評価計画（全12時間）

| 指導の流れ | | | | 評価規準と評価方法 ◎重要○大切 | | | |
|------------------------------|----|-------------------------------|-----------------------------------|-------------------------------|-----------------|----------------------------|--------------------------------|
| 次 | 時間 | 学習活動 | 家庭科の 基礎基本 | 家庭生活への 関心意欲態度 | 生活を創意 工夫する能力 | 生活の 技能 | 家庭生活につい ての知識理解 |
| 第一 次日 の食 事を調 べよう | 2 | ○食事のとりかたを振り返る。 ○一日の食事を調べる。 | ・食生活への関心 ・食事への関心 | ◎日常の食生活や調理に関心をもっている。 (ノート) | | | |
| 第二簡 次単 な調 理を しよう | 2 | ○調理の計画を立てる。 | ・調理の仕方 ・調理の手順 ・調理に必要な用具、扱い方 | | | ○調理の計画を立てることができる。(ノート) | ◎調理実習の進め方や大事なポイントが分かる。(観察・ノート) |
| | 2 | ○ゆで卵・ゆで野菜の調理をする。 | ・調理の仕方 ・調理の手順 | ○ゆで方に関心を持ち、意欲的に調理しようとする。(観 | | ◎「ゆでる」調理をすることができる。(観察・ノート) | ○「ゆでる」調理方法がわかる。(観察・ノート・テスト) |

| | | | | | | | |
|---|-------------|-------------------|----------------------|-------------------------------------|-----------------------------|----------------------------|--|
| | | | | 察) | | | |
| | 4 | ○いりたまご・野菜の油炒めを作る。 | ・調理の仕方 ・調理の手順 | ○いため方に関心を持ち、意欲的に調理しようとする。(観察) | ○材料や目的にあわせて、工夫して調理している。(観察) | ◎「いため」調理をすることができる。(観察・ノート) | ○「いため」調理方法がわかる。(観察・ノート・テスト) |
| 第三な次 食 べ る の か 考 え よ う | 1 本 時 | ○なぜ食べるのか考える。 | ・栄養への関心 ・栄養に関する知識 | | | | ◎食品の体内での主なはたらきが分かり、食べることの大切さが分かる(観察・ノート・テスト) |
| | 1 | ○自分の食生活を工夫する。 | ・食事への関心 | ◎学習を振り返り、これからの生活にいかそうとしている。(観察・ノート) | ○食生活をよくしようと工夫している。(観察・ノート) | | |

8 本時のねらい

○食品の体内でのおもなはたらきを理解することができ、食べることの大切さがわかる。

| 学習活動 | 教師の働きかけと支援 | 資料・準備 |
|---|--|--------------------------|
| 1 食事の必要性を考えさせる。 | ○ なぜ食べるのかを考えさせ、自分の食生活をふりかえさせる。 | |
| 2 いろいろな食品を取らないといけない理由を考える。 | ○ 「ばっかり食べ」を注意されたことはないか、想起させる。 | |
| なぜ、色々な物を食べないといけないのだろう | | |
| 3 栄養とは何か、調べる。 ・栄養の主な三つのはたらき ・五大栄養素名 | ○ 「栄養」という言葉は出てくると思われるので、その意味や、役割を教科書等から調べさせる。 ○ ノートに記入することにより、知識として定着させる。 | 教科書 電子黒板 学習ノート |
| 4 よりよい食べ方を考える。 | ○ バイキング形式のレストランで、どの食品を選ぶと良いかを考えることで、バランスのよい食事を心がけるよう意欲づける。 | 食品カード |

【評価】食品のはたらきを理解することができ、食べることの大切さがわかる。

(知識・理解, 関心・意欲・態度)

A 食品のはたらきを理解し、食べることの大切さを説明することができる。

B 食品のはたらきを理解し、食べることの大切さがわかる。

C 食品のはたらきが理解できない。

→教科書や学習ノートから学習をふり返ったり、友達の発言を聞いたりして、理解を深める。